

保育士人材育成計画 概要（案）

1 保育士人材育成計画作成の背景

- (1) 現状
 - ・これまで明確かつ計画的な育成の体制がなかったこと。
 - ・経験豊富な職員の減少（20歳台・30歳台の若年層の増大）
- (2) これからの保育者育成の視点
 - ・幼児教育の活動を的確に実施していくことの重要性（子どもの「生きる力」の涵養、非認知能力の育成における幼児期の重要性（その後の学力への影響））
 - ・自らのキャリアの見通しをもち、組織力を生かす園作りのより一層の推進

2 育成の方向性（目指す保育士像等）

- (1) 目指す保育士像 ～子どもたちの「生きる力」を育む保育士～
 - ・子どもの主体的な活動を引き出し支える。
 - ・子どもの気持ちを受け止め、理解して関わる。
 - ・保護者と信頼関係を築き、共に子どもの育ちを支える。
 - ・同僚性を高め、共に成長する。
 - ・組織の中の保育士として使命を自覚し、職務を遂行していく。
 - ・保育士としての情熱や向上心をもち、学び続ける。
- (2) 保育士に求められる能力（スキルマップの作成）
 - ・保育士として基盤となる資質^(※)や必要な知識・技術の整理
 - ・職位や経験年数に応じ身に付けるべき知識・技術の整理
 - (※)「愛情」「コミュニケーション力」「使命感」「柔軟性」「忍耐力」「包容力」「組織力」

3 育成の取組について

- (1) 園内での研修
 - ・日常の保育活動における保育士の育成（園内研修の内容や「振り返り」の手法等）
- (2) 園外での研修
 - ・園外で行われる研修の整理と活用
- (3) 自己学習
 - ・外部セミナー等への参加、任意の勉強会、専門書の読書など

※今後の人材育成計画策定スケジュール

第2回幼児教育推進会議（9月頃を予定）

- ・議題：保育士人材育成計画（案）及びスキルマップ（案）について